

令和3年第2回定例会一般質問順序表

6月24日～25日

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	答弁者
1	7	木村 恵	1 新型コロナウイルス感染症について	1 ワクチン接種について	<p>1 高齢者のワクチン接種が5月24日から始まっている。現時点で65歳以上の方は全て接種券が送付されていると思うが、予約状況及び接種状況はどうなっているか伺う。また5月18日の行政常任委員会でも確認したが、高齢者は7月中の接種完了を目指しているということだったが、見通しはどうか合わせて伺う。</p> <p>2 高齢者以外の接種については、国のスケジュールに準じて接種券を送付していくこととして、決まり次第ホームページ等で周知することになっていると思う。当然7月以降の接種予約となると思われるが、高齢者同様に段階的な送付となることが混乱を生まない対応だと考える。他方、政府は6月10日に東京都と大阪府の大規模接種会場の予約状況に多くの空きが出ているとして、対象地域を全国に拡大しており、更に対象を64歳以下にすることも検討している。大規模会場での接種を希望する市民がいた場合は接種券がないと予約ができないこととなるが、どのような対応となるのか伺う。</p> <p>3 国は5月28日、ファイザー社のワクチンの接種対象を16歳以上から12歳以上に引き下げた。小学6年生から中学3年生までが新たに対象となったことになる。現時点で高齢者は数え年齢で接種券を郵送しているが、厚生労働省は接種対象を接種する日に12歳以上としている。さらに、菅首相は希望するすべての国民へ11月中に打ち終えたいと言ったことも党首討論で述べている。生徒児童の集団接種へ不安を抱く保護者の声も報道されているが、今後どのように対応していくのか伺う。</p>	市長 市長 市長

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	答弁者
1	7	木村 恵			<p>4 ワクチンの管理について、川崎市でワクチン保管用の冷凍庫の不具合で6,396回分のワクチンを廃棄したという報道があった。市立病院及び平岸病院に、ディープフリーザがあるが、停電等の対応は問題ないのか。また、解凍後の冷蔵保存期間も5日間から1か月間に延長することを厚労省の薬事・食品衛生審議会の専門部会が了承したと報道があるが、現在どのような管理をしているのか伺う。</p> <p>5 先日の行政常任委員会で余剰ワクチンが発生した場合の対応についてしっかりルール化されていることは、確認できた。急なキャンセルへの対応、接種券の管理などについて指摘したが、冷蔵保存が1か月間可能となれば余剰ワクチンはそれほど発生しないことになる。しかし、そのままその日の予約をキャンセルするだけでは全体として接種が遅れることにもつながる恐れがある。現在、どのように対応しているのか伺う。</p>	市長
				2 市町村別週間感染者数の公表について	1 道は発表を延期していた新型コロナウイルスの1週間ごとの市町村別の感染者数について、今週分を来週の28日に発表する方針を示した。住民の感染対策の意識を高めるかもしれないが、感染者が特定され差別的な扱いを受ける懸念もある。風評被害や過剰な自粛などによって、経済活動の更なる影響も出るかもしれない。私はこの公表に関して否定的な考えではないが、大切なことは1人1人が感染対策をしっかり行い、他の人がどこに行ったとか何をしていたとか干渉しないことだと思う。赤平市としても改めて、差別や誹謗中傷などが起きないように啓発していく必要があると思うが考えを伺う。	市長

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	答弁者
1	7	木村 恵		3 市内飲食店等の状況について	1 緊急事態宣言が5月16日から5月31日まで出され、さらに6月20日まで延長となった。市内飲食店等は実に36日間、営業時間は20時まで、酒類の提供は19時までという要請に協力せざるを得なかったわけだが、要請に応じた場合、緊急事態措置協力支援金が支給されることとなっている。5月16日から31日までの分は6月1日から受付開始となっているが、市内飲食店等からの申請等に関する相談など状況はどうなっているのか伺う。	市長
			2 教育行政について	1 公設塾について	1 公設塾は5月から開始予定だったが、緊急事態宣言により遅れが生じた。新聞でも報道されたが、中学生は交流センターみらいが休館となったことで、市役所に場所を変更して6月2日から開設され、小学生は児童館などの会場が休館となり6月20日までの予定されていた分は中止となっている。宣言解除後の今週からは、どのように行っていくのか、また中止となった分を夏休みなどに振り替えることなど考えているのか伺う。合わせて、新聞報道の写真ではパーテーションが、置かれていなかったが人数が少ないから、置いていなかっただけで、生徒児童数が多い場合は、感染対策をしっかりと行っているのか伺う。	教育長
				2 生理の貧困について	1 家庭環境や生活困窮などにより、生理用品が十分に手に入らないことから児童・生徒の健康や学習権を心配する声がコロナ禍で大きくなってきた。様々な団体が国や地方自治体に申し入れを行っており、5月19日現在、全国で283の自治体が配布やトイレなどへ設置するなどの取り組みが行われている。赤平市の学校はこの問題に対してどのように取り組んでいるのか伺う。	教育長

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	答弁者
2	5	北 市 勲	1 新型コロナウイルスワクチン接種について	1 予約受付と接種券送付について	<p>1 65歳以上の高齢者に対する5段階受付と一定の間隔を持って接種券の送付は混雑を避けるためにも市民には大変好評であり高く評価しております。ワクチン接種を既に接種された優先接種者に対し重複して接種券送付をされていることについて伺う。</p> <p>2 ワクチン接種記録システムデータ連携改修で接種券の未送付や重複送付を、未然に防止するための機能や方法はなかったのか伺う。</p>	市長 市長
				2 接種受付について	1 現在の接種受付は混乱も無くスムーズに出来ており、また市立病院における24日の初日も病院職員の適切な対応により大きな混乱に至らなかったが、この様な場面に新型コロナウイルスワクチン接種対策室の責任者として職員への激励や市民への対応に顔を出すべきではと思うが考えを伺う。	市長
				3 副反応に対する対応について	1 副反応が出る頻度は2回目の接種後の方が多く、その程度は1回目より強くなる傾向にあるが市職員の接種に対する庁舎内の対応はどの様に考えているのか伺う。	市長
			2 地域公共交通について	1 地域公共交通活性化協議会の進捗状況について	<p>1 第1・2回までの分科会報告はされているが、その後、分科会は実施されたのか、又、されたのであれば、開催はいつで開催形式及び協議内容について伺う。</p> <p>2 実証運行は本年中に実施されるとの約束であるが、実施形態や実施日時などについて伺う。</p>	市長 市長

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	答弁者
2	5	北市勲	3 移住・定住の促進について	1 住みたい「まち」づくりについて	1 本年2月に月刊誌「田舎暮らしの本」が掲載した「住みたい田舎」ベストランキングで、沼田町が3年連続で道内エリア総合1位となり町内移住者は18年度12組26人、19年度は14組31人となっており、人口の社会増に結びついております。当市の人口減少対策として、住みたい「まち」づくりは移住・定住の促進案として期待できると思いますが市長の考えを伺う。	市長
3	4	安藤 繁	1 太陽光発電施設の設置について	1 太陽光発電施設の設置規制に係る条例の制定について	1 太陽光発電施設の設置規制に係る条例の制定について、昨年6月の第2回定例会以降、どのような検討と取り組みが行われて来たのかについて伺う。 2 太陽光発電施設の設置について、第6次赤平市総合計画の基本目標の2「安全・安心で快適に暮らせるまち」との関連も含め市は現状をどの様に認識しているか伺う。 3 太陽光発電施設の設置規制条例に係る、今後の取り組みについて伺う。	市長 市長 市長
			2 赤平市の歴史・文化遺産について	1 炭鉱遺産施設の見学に係る案内等について	1 空知川露頭炭層の見学スペースを兼ねた護岸施設への案内標識と駐車場の整備について伺う。 2 立坑櫓前看板とずり山階段駐車場看板の今後の維持管理について、また、炭鉱ガイド施設に炭鉄港関係総合案内看板設置の考えについて伺う。	市長 教育長

順序	議席 番号	氏 名	件 名	項 目	要 旨	答 弁 者
4	3	鈴木明広	1 脱炭素社会実現に向けた赤平市の取り組みについて	1 政府の示す2030年温室効果ガス削減目標達成に向けた当市の取り組みについて	1 当市の改正地球温暖化対策推進法以前の2030年までの温室効果ガス削減長期目標は、基準年比40.1%を削減であったが法改正により、国が自治体へ大幅な削減を促す状況は従前より強くなると思われるが、30年の長期目標達成のための具体的な事業内容の見直しについて考えを伺う。	市長
				2 再生可能エネルギー導入による持続的な地域づくりを進める条例制定について	1 ポストコロナ後の経済復興策として注目されているグリーン・リカバリーは、当市にとっても大きなチャンスであり、グリーンマネーを呼び込むためには、地域主導や地域共同参画による自然エネルギー事業を企図し、事業者の新規参入を促進するためにも、赤平市は再生可能エネルギー導入による持続可能な地域づくりのための条例を制定することが必要であると思うが、考えを伺う。	市長
			2 行財政改革について	1 予算説明書における性質別経費分析表の必要性について	1 当市はマスコミ向け発表資料として性質別経費が掲載されているものが提供されており、議員が予算案審議に使用する予算説明資料にはそれらが掲載されていない。なぜ審議用の公文書から性質別経費分析表が外されるのか伺う。	市長
				2 支出科目説明がわかりやすい予算書の使用について	1 平成13年度の当市の予算書の特徴として、一つの節ごとに区分と金額が明示されており、その右側の説明欄には科目別の費用が人数と単価などが細かく掲載されていた。従って、細目における金額の妥当性を吟味する上で大変分かりやすいものであった。このような事業ごとの人件費等のトータルコストを把握し見やすい予算書の方が良いと思われるが、戻すことは可能か考えを伺う。	市長

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	答弁者
4	3	鈴木明広		3 一般行政職員の今後の人数の最適化について	1 新採用を毎年1人限定して採用するというシミュレーションを行うと、約15年で80人まで漸減していくと推計される。人口減少数に見合った職員数にせざるを得ない状況になることが予測されるが、どのように業務内容の効率化を進捗させながら合理的に職員数の最適化を図るつもりであるかを伺う。	市長
				4 将来的な人口当たりの人件費率の上昇について	1 一般的に過疎自治体では、行政コストパフォーマンスは低下するという傾向にあるが、人口減に歯止めがかからない当市で、もし人件費抑制の改革を行わない場合は、性質別歳出に占める人件費の割合が高まることは回避できないことと思われます。それにより住民福祉のサービスが低下し、行政の質の劣化が懸念され、何らかの進取の対策を練っておかなければならないと考えますが、対策の検討などはなされているのか考えを伺う。	市長
				5 持続可能な行政ガバナンスのための職員中途採用について	1 赤平市においては財政状況から職員の採用停止を行っていた過去により、15年後には、管理職となる年齢層が減少し、業務遂行の要となる重要な役職を担う人材が不足する蓋然性はかなり高いと思われます。また課長の絶対数が不足することにより行政運営上、今後も欠くことのできない法務、実務、接客等のスキルや技術の継承が困難になっていくことが非常に懸念されます。これは住民サービスの低下に影響を与える要因となると思われ、適正な人員数管理のためには即戦力となる人材の中途採用を積極的に取り組み、若手の育成を進める必要があるのではないかとと思うが、このことについて見解を伺う。	市長

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	答弁者
4	3	鈴木明広	3 公共施設等総合管理計画の今後10年間の実施見通しについて	1 除却費用のための財源について	1 2019年11月の「ダイヤモンドオンライン」に1,578自治体の「インフラ危険度」が掲載された。そのランキングで当市は平均更新費比率90.6%, 経常収支比率, 約101%財政力指数0.21でインフラ危険のランキング1,578自治体中, ワースト「第3位」になっております。全国で平均更新費率が90%を超える市町村においては, 普通建設事業に使う予算のほとんどが既存のインフラを更新するだけで精一杯であることが伺えます。現行の更新どころか補修や長寿命化の工事もおぼつかないのではないかと懸念される。つまり自主財源のみによる公共施設等の「除却」事業計画は厳しいと危惧する。当市において10年間でおよそ約9億円に及ぶ除去費用の確保は大丈夫なのか, 計画倒れになるおそれがあるか考えるが見解を伺う。	市長
5	9	御家瀬 遵	1 市長の所信表明, 市政執行方針について	1 進捗状況について	1 市政運営にあたり「市民アンケート調査を実施し実態を把握したうえで, どのような手段, 方法で解決していくのかを考える」とのことでしたが, 多数ある案件を市長はどのような考えで順位決定し, いつの時点で, 実施に移そうと考えているのか伺う。 2 「第6次赤平市総合計画」及び「第2期しごと・ひと・まち創生総合戦略」の事業について, 市長は「事業の決定過程の透明化」を公約に挙げられていますが, 策定過程での透明性についてを伺う。 3 しごと・ひと・まち創生総合戦略の現在の進捗状況と実現のための市長の考えを伺う。	市長 市長 市長

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	答弁者
5	9	御家瀬 遵	2 赤平市公共施設等総合管理計画について	1 個別施設計画と公有財産等について	1 当市は多数の遊休施設や遊休地を抱えています。施設内には貴重な資料等もあります。今後の対応について伺う。	市長
					2 当市の遊休施設は老朽化も著しく、景観を損なうばかりか、安全面からも早急な対応が必要と思われませんが、今後の除却の考えと跡地の活用について考えを伺う。	市長
6	1	若山 武信	1 新型コロナウイルス感染症対策について	1 ワクチン接種について	1 65歳以上の市民にワクチン接種のクーポン券を送付しているが、現在の接種申請率について伺う。	市長
					2 現在までのワクチン接種における副反応の有無と程度について伺う。	市長
				3 64歳以下の接種についてどのように進めていくのか、また当初の予定であった基礎疾患のある方に対する接種についてはどのように考えているか伺う。	市長	
				4 厚生労働省がワクチン接種年齢を12歳まで拡大し、クーポン券を発送している自治体もあるが、当市の対応について伺う。	市長	
				5 当市のワクチン接種終了の見通しはいつ頃までと考えているか伺う。	市長	
				2 今後の支援策について	1 新型コロナウイルス感染症は変異株等により、まだ終息の見通しがつかない状況である。長期化した場合の今後の市民生活、各企業への影響などを踏まえた支援対策等についての考えを伺う。	市長

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	答弁者
6	1	若山武信	2 環境整備について	1 ゴミの不法投棄と監視カメラの設置について	1 雪解けと共に、当市の多くの道路に大量のゴミが現れ、キツネやカラスがそのゴミを荒らし、目に余る状況が見受けられる。ゴミの不法投棄対策として監視カメラを設置していくべきではないかと思うが、行政の考えを伺う。	市長
				2 市道の草刈りについて	1 市街地の道路に於いては、花壇が整備され、雑草なども生えていない状況であるが少し市街地から外れると道路わきや歩道などに生えた雑草が伸びており、場所によっては体に触れるなど歩行に支障をきたしているところもある。市民からも草刈りは、いつ頃してくれるのかとの声もある。パトロール等行っていると思われるが、どのような状況であれば草刈りを行うのか、基準等の有無について伺う。	市長
			3 人口減少対策について	1 転出者の調査について	1 当市の人口は昨年12月末の9,642人から今年の4月末現在で、9,538人と104人、世帯数は5,707世帯から5,695世帯と12世帯の減少となっており、人口減少が進んでいる。人口減少には、自然減、社会減がある。社会減に関しては、様々な事情があると思うが転出者に対しアンケート調査等の協力をお願いしてもらった事により、人口減少対策の有効な資料にもなると思う。平成30年に2ヶ月程アンケート調査をしているが、その後はどうなっているのか、また対策等について検討しているのか伺う。	市長